

一日ドック基本検査項目表 平成28年度版

区分	検査項目	備考
身体計測	身体肥満 BMI	長重量 I 囲
生理	血圧測定 心電図 眼底検査 眼圧検査 視力検査 聴力検査 呼吸機能検査	原則2回測定値と平均値 両眼撮り 1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
X線・超音波	胸部X線 * 上部消化管X線 腹部超音波	2方向（デジタル画像も可） 食道・胃・十二指腸。4ツ切等8枚以上（デジタル画像も可） 発泡剤、鎮痙剤、下剤の使用は任意とする 検査対象臓器は胆のう・肝臓（脾臓を含む） ・膵臓・腎臓とする。但し、膵臓検出できない時はその旨記載すること
生化学	総蛋白 アルブミン クレアチニン 尿酸 総コレステロール HDLコレステロール LDLコレステロール 中性脂肪 総ビリルビン AST（GOT） ALT（GPT） γ-GT（γ-GTP） ALP 血糖（空腹時） HbA1c	直接法とする（Friedewaldの計算式による算出でも可）
血液学	赤血球数 白血球数 血小板数 Hb Hct MCV MCH MCHC	球球素ト数VHC
血清学	血液型（ABO） 血液型（Rh） 梅毒反応抗原 HBs抗	本人の申し出により省略可 本人の申し出により省略可 本人の申し出により省略可（梅毒脂質抗原使用検査） 本人の申し出により省略可
尿	尿蛋白 尿糖 尿沈渣 潜血 比重	蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
便	潜血	免疫法で実施(2回法)
問診・診察	内科	胸部聴診、腹部触診等
情報提供	報告	特定健診情報提供を含む
質問票	質問	特定健診質問票22項目を含む
説明、教育、指導		
オプション検査項目 ★乳房触診+乳房画像診断 ★婦人科診察+子宮頸部細胞診(医師による) ★PSA検査 ★HCV抗体		
*原則としてX線検査とする。本人からX線検査が困難との申し出があり医師が必要と認めた場合、内視鏡検査に変更することも可		

二日ドック基本検査項目表 平成28年度版

区分	検査項目	備考
身体計測	身長 体重 BMI	
生理	血圧測定 心電図 眼底検査 眼圧検査 視力検査 聴力検査 呼吸機能検査	原則2回測定値と平均値 負荷試験は任意で実施 両眼撮り 1秒率、%肺活量、%1秒量（対標準1秒量）
X線・超音波	胸部X線 * 上部消化管X線 腹部超音波	2方向（デジタル画像も可） 食道・胃・十二指腸。4ツ切等8枚以上（デジタル画像も可） 発泡剤、鎮痙剤、下剤の使用は任意とする 検査対象臓器は胆のう・肝臓（脾臓を含む） ・膵臓・腎臓とする。但し、膵臓検出できない時はその旨記載すること
生化学	総蛋白 アルブミン クレアチニン 尿酸 総コレステロール HDLコレステロール LDLコレステロール 中性脂肪 総ビリルビン AST（GOT） ALT（GPT） γ-GT（γ-GTP） ALP 血糖（75gブドウ糖負荷試験） HbA1c	直接法とする（Friedewaldの計算式による算出でも可） 血糖3回（0, 60, 120分）明らかに糖尿病と判明している場合は省略し「空腹時血糖」を実施
血液学	赤血球数 白血球数 血小板数 Hb Hct MCV MCH MCHC	
血清学	CRP 血液型（ABO） 血液型（Rh） 梅毒反応 Hbs抗	本人の申し出により省略可 本人の申し出により省略可 本人の申し出により省略可（梅毒脂質抗原使用検査） 本人の申し出により省略可
尿	尿蛋白 尿糖 尿沈渣 尿比重	蛋白、潜血反応が陰性であれば省略可
便	潜血	免疫法で実施（2回法）
問診・診察	内科	胸部聴診、腹部触診等
情報提供	報告	特定健診情報提供を含む
質問票	質問	特定健診質問票22項目を含む
	説明、教育、指導	
オプション検査項目 ★乳房触診＋乳房画像診断 ★婦人科診察＋子宮頸部細胞診（医師による） ★PSA検査 ★HCV抗体		
*原則としてX線検査とする。本人からX線検査が困難との申し出があり医師が必要と認めた場合、内視鏡検査に変更することも可		